



はばたき

学校教育目標 自ら学び 心豊かで 健やかな子ども

令和6年8月9日

第23号

校長 古本 龍夫

平和の原点は、ひとの心の痛みがわかる心をもつことです。(吉田 勝二さん)

今日は、79年前、長崎に原子爆弾が投下された日です。8時50分までに登校し、平和集会を体育館で行いました。みんな元気に登校してきて何よりでした。運営委員会の司会による平和集会は、各学年の分担の下、厳かな中に、子どもたちが立派に参加していました。11時2分を黙祷を捧げて、犠牲者のご冥福を祈り、恒久平和を願いました。

平和集会 校長の話

79年前の今日、11時2分に、長崎に原爆が投下されました。一つの原子爆弾によって多数の人の命が一瞬にして奪われ、今なお、その後遺症で悩まされている人もいます。

今日は、長崎原爆のことについて考え、黙祷を捧げて、原爆の犠牲になった方々のご冥福と世界恒久平和を祈る日です。校長先生の亡くなったお父さんも10歳の時に爆心地から4キロ離れたところで被爆しました。

被爆された方々の高齢化が進み、今年被爆者の平均年齢は85.58歳です。このことを継承してしていくことが、私たちの使命だと思っています。

今日は、吉田勝二(かつじ)さんという人を紹介します。吉田勝二さんは、被爆当時、長崎県立工業学校2年生で13歳でした。爆心地から850メートルの現在の江里町(えりまち)で被爆しました。11月頃になって、大村(おおむら)海軍病院に運ばれ治療を受けました。激しい痛みを伴う治療に耐えた吉田さんを待っていたのは、顔中に広がったケロイドと、それによる差別でした。吉田さんを見た子どもが、怖いと言ったそうです。それを乗り越え、語り部として小中学生に話をしたそうです。吉田さんのメッセージは、「平和の原点は、人の痛みがわかる心をもつことです。」という言葉です。

校長先生も今改めて、吉田勝二さんの言葉をかみしめています。平和の原点は人の痛みがわかる心を持つこと。周囲のお友達が困っているときそっと声をかけることができる人。おうちの人が風邪引いて熱を出してうなされているときに、助けてあげられる人。そのことが、平和の原点だと思うのです。

実は、身近なところに、平和は、あるように思います。

今日は、79年前に思いを巡らせて黙祷し、「平和の原点は人の痛みがわかる心を持つこと。」であることをかみしめていきましょう。

これで、校長先生のお話は終わります。

夏休みの主な予定など

- 8月 9日(金) 平和祈念集会
※6年生2名は市の式典へ参加
- 10日(土) 学校閉庁～15日(木)
- 31日(土) 光風台夏祭り17時～
- 9月 2日(月) 2学期始業式
- 3日(火) 短縮日課(6日)身体測定6年
- 4日(水) 夏休みの作品展(11日)身体測定5年
- 5日(木) 身体測定4年
- 6日(金) 身体測定3年
- 修学旅行・学校選択制説明会6年



学校からのお知らせ

- 夏休み期間の登校する日について
 - 8月9日(金) 8:50～11:15 (平和祈念のため)
 - 9月2日(月) 8:15～11:15 (2学期始業式)
 - ※下校時刻は11:30ごろになります。
- 学校閉庁日について
 - 8月10日(土)～15日(木)の6日間は、学校を閉庁します。
 - 平日の8:15～16:45は、学校電話番号095-850-4447です。
 - 緊急な連絡は、学校gmailへ送信してください。
 - アドレスe57narumidaisy@gmail.com
 - HPアドレス<https://www.ngasaki-city.ed.jp/narumidai-e/>

*学校からの文書テルにてお知らせしています。

